



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No. 38

発行 令和3年1月8日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 3学期始業式の挨拶

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。  
皆さまにとって、幸多い年になることを願っております。

3学期の始業式での式辞を掲載いたします。

2学期の終業式で、冬休みの間、気持ちを強く持ち、時間を上手に使うことで学習や生活をする、「新しい生活様式」に従い、新型コロナウイルスの感染予防に努め、事故にあわないよう十分注意することなどをお話しました。しっかりと守り、有意義に過ごすことができましたか。

さて、今日から3学期が始まりますが、3学期は1、2年生が50日間で次の学年へ、3年生が43日間で次のステージへと進むために準備する大切な学期です。

まず、学習のまとめをしなければなりません。それぞれの学年で学習した内容を、確実に身に付ける必要があります。計画的に問題集や受験用補助教材で振り返り、知識や技能を定着させることが大切です。それと同時に、家庭学習を習慣化させ、授業での学びを活用できるまで向上させることも大切です。自分を成長させるために必要な意欲、自己マネジメント力、学力は、中学校を卒業してからも、将来の自分の生業（生活していくための仕事や生きがい）を確立していくために、必要となるものであると思います。

次に、学年にふさわしい自覚のある行動ができるようにしなければなりません。授業や生徒会活動や部活動、行事などを通して、更に人間性を磨いてほしいと思います。時と場に応じた行動ができる社会人や大人になるための学びの場としての役割が学校にはあります。自分本位にならず、大切なときや必要なときに当たり前に行動ができる人間性を育ててください。どんな時でも忘れてはいけないことは、お互いを思いやる行動です。中学校3年間での集大成である卒業式では、全員で思いを込めて素晴らしい卒業式を作り上げ、3年生にとっても保護者の方々にとっても思い出深い卒業式にしてほしいと思います。

更に、次の学年への準備については、心構えを持つことが大切です。3年生は中学校を卒業し、それぞれが自分の進路を歩み出します。今までの活動してきた環境から新たなステージへと環境が大きく変わります。そのため心の準備をしておく必要があります。2年生は最高学年となり、1年生は後輩が入学してきます。学校の代表として見られたり、下級生から頼られたりと、責任が大きくなります。3学期のうちにその心構えをもっておくようにしてほしいと思います。

皆さんは、これから新たなステージへと飛び立とうとしています。3学期はまさしく、飛行機が滑走路を勢いよく助走している状況です。滑走路での勢いがなければ、飛行機は飛び立てません。是非、これからの3か月間は、滑走路から飛び立つ準備を万全にして、新たなステージへと飛躍できるようにしてください。学習のまとめを確実にやり、次へのステージに進む自覚、そして心構えをもって、この3学期を過ごすことを期待しています。

## 2学期の最後の授業、真剣に生き生きと活動



【1年生の技術の授業】



【2年生の英語の授業】



【3年生の書写の授業】

12月23日（水）の5校時の授業が、2学期最後の授業になりました。

- 1年生：「技術」本箱の製作図を等角図法により作図しました。一生懸命に作図していました。
- 2年生：「英語」英文で説明しているものについて考える授業でした。3年生レベルの内容でした。
- 3年生：「書写」書きそめの課題を行書で丁寧に書いていました。素晴らしい作品に期待します。

どの学年も、まじめに、そして一生懸命に授業に取り組んでいました。知識や技能はその時間内に理解し習得できるものが多いです。生徒の皆さんは、1時間の授業に集中して取り組んでいる姿勢を3学期も続けてください。継続した取り組みにより考える力や活用する力が育成されます。実りの多い1年にするためにも、地道な努力と志を大切に日々過ごしていきましょう。この1年、大きく飛躍し、成長することを期待しています。